

AC

⑬ Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)3月30日

F 16 C 21/00  
17/04  
19/26  
33/30

Z

8207-3 J  
8207-3 J  
8207-3 J  
6814-3 J

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 スラストワッシャ付きフオロア軸受

⑯ 実 願 昭63-126713

⑰ 出 願 昭63(1988)9月28日

⑱ 考 案 者 小 宮 由 行 神奈川県川崎市幸区東古市場42番地

⑲ 出 願 人 日本トムソン株式会社 東京都港区高輪2丁目19番19号

⑳ 実用新案登録請求の範囲

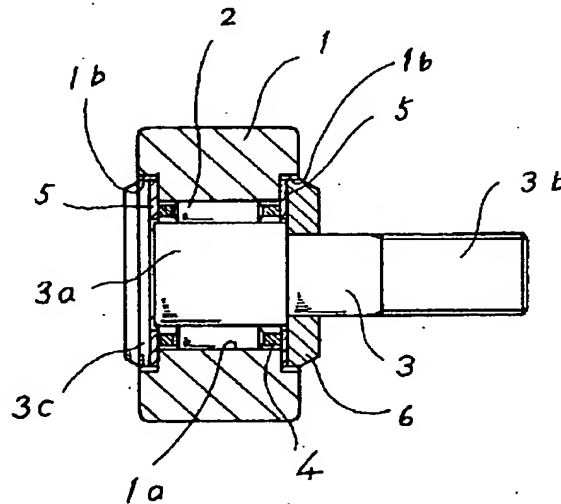
断面肉厚な外輪の側壁面と軸又は内輪の鍔部との間に中空円板状のスラストワッシャが回転自在に挿入されているフオロア軸受において、スラストワッシャの側面には凹部が形成されていると共に金属となじみ性のある材料による薄い被膜層が形成されていることを特徴とするスラストワッシャ付きフオロア軸受。

図面の簡単な説明

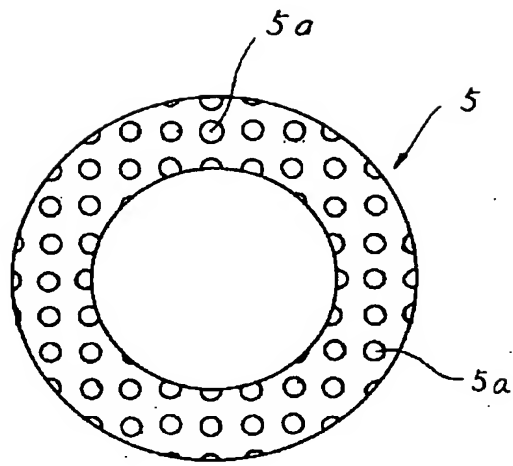
第1図から第5図の図面は本願考案の実施例を示すものである。第1図は本願考案を実施したカムフオロアの正面図を示すもので、第2図は本願

考案の第1のスラストワッシャの実施例を示す平面図であり、第3図Aは第2図のスラストワッシャの正面図であり、第3図Bは本願考案の第2のスラストワッシャの実施例で、薄肉の場合を示し、第4図は第3図Aの部分拡大図であり、第5図はスラストワッシャの本願考案の第3の実施例を示す投影図である。

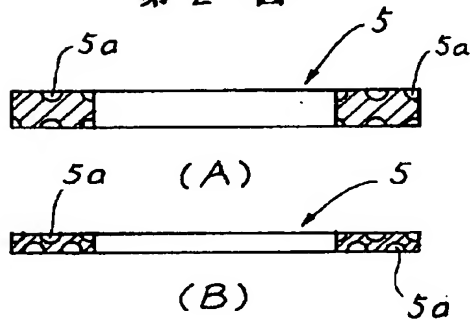
1：外輪、1a：軌道面、1b：段付き部、2：ころ、3：軸、3a：軌道面、3b：ねじ部、3c：フランジ、4：保持器、5：スラストワッシャ、5a：凹部、5b：被膜層、6：側板。



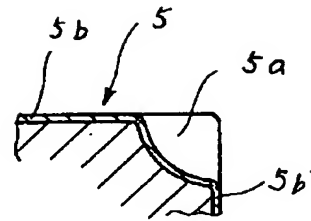
第 1 図



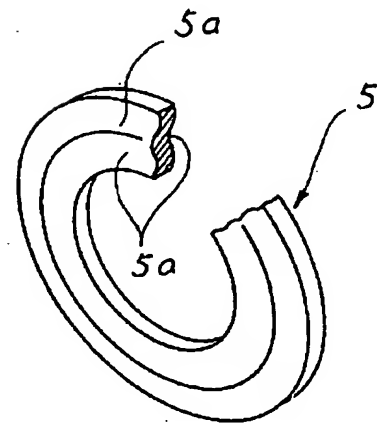
第 2 図



第 3 図



第 4 図



第 5 図

# 実用新案法第 5 5 条第 2 項において準用する特許法第 1 7 条の 2 の規定による補正の掲載

昭和 6 3 年実願第 1 2 6 7 1 3 号 (実開平 2 - 4 7 4 1 7 号、平成 2 年 3 月 3 0 日発行公開実用新案公報 2 - 4 7 5 号掲載) については実用新案法第 5 5 条第 2 項において準用する特許法第 1 7 条の 2 の規定による補正があつたので下記のとおり掲載する。

Int. Cl.<sup>3</sup>  
F 16 C 21/00  
17/04  
19/26  
33/30

識別記号 庁内整理番号  
6864-3 J  
Z 6864-3 J  
6864-3 J  
6814-3 J

## 記

1 実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

### ⑦実用新案登録請求の範囲

外輪の両側壁面と軸のフランジ部及び側板との間に円環状のスラストワツシヤが回転自在に挿入されているフオロア軸受において、該スラストワツシヤの両側面には、それぞれ凹部が形成されていると共に、前記スラストワツシヤの表面には、金属とのなじみ性の良好な材料による薄い被膜層が形成されていることを特徴とするスラストワツシヤ付きフオロア軸受。

2 図面の簡単な説明を次のように補正する。

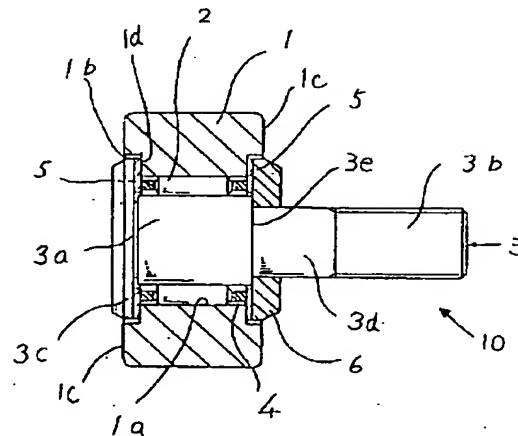
### 図面の簡単な説明

第 1 図は実施の一例の縦断面図、第 2 図は第 1 図に示すものの中のスラストワツシヤの平面図、第 3 図は第 2 図に示すものの A-A 線断面図、第 4 図は第 3 図に示すものの B 部の拡大図、第 5 図はスラストワツシヤの実施の他の一例を示す第 3 図と同様の断面図、第 6 図はスラストワツシヤの実施の他の一例を示す一部省略斜視図である。

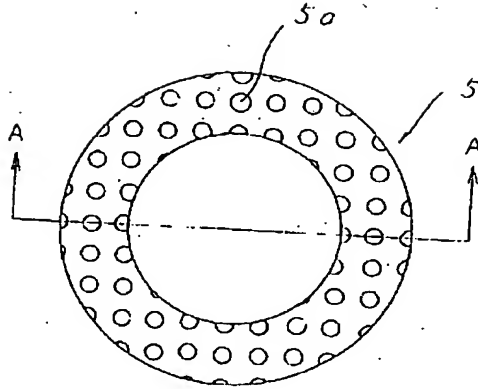
1 : 外輪、1 c : 側壁面、1 d : 底部、3 : 軸、3 c : フランジ部、5 : スラストワツシヤ、5 a : 凹部、5 b : 被膜層、6 : 側板。

3 図面を次のように補正する。

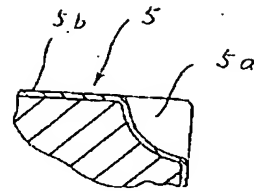
第 1 図



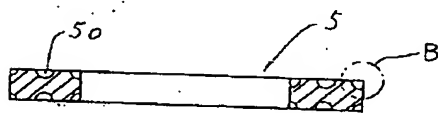
第 2 図



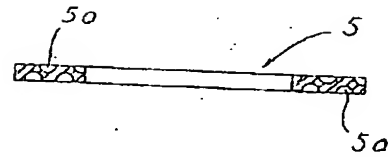
第 4 図



第 3 図



第 5 図



第 6 図

